



OMEKESANG オメゲサン

会長
テシー・ノブオ
副会長
サージオ・レエセンゲン

主な活動内容

- 障害者権利の保護・促進
- コミュニティでの提唱
- 障害者エンパワーメント
- 障害者の権利と保護に関する知識共有
- 障害者を各種サービスにつなぐ

設立背景

1997年、自身も身体障害があり車椅子利用者であったマイケル・オンガリバンによって設立。
2010年、ピラニー・レメンゲサウ（Pacific Disability Forumの共同議長）により公式なNGOとなる。
「OMEKESANG」とは、パラオ語で「一步前進する」という意味。

活動目的

障害に関する問題を監督し、パラオのコミュニティ間の文化的障壁を打破すること。
支援が必要な人々を擁護し、障害を持つ人々の生活に変化をもたらす。



メンバーからの声 テシー・ノブオ代表

私は2009年に脳腫瘍の脳外科手術を受け、完全に視力を失いました。自分自身だけでなく家族の助けにもなると考え、2015年にこの組織に参加しました。そして、2019年、会長に就任しました。

1997年の設立以来私たちは、障害への適応に困難を強いられる数多くの個人や家族を支援してきました。国連障害者の権利条約に沿って、組織の憲章と条項および付属定款の更新を成し遂げることを短期的な目標に掲げています。

私たちは、障害を持つ人々がいつでもサービスやプログラムに容易にアクセスできるように努めています。困窮している人々を支援し、彼らの生活条件を向上させるため、最新のテクノロジーとそのデバイス使用の実現に向け取り組んでいます。私たちは、支援を必要とする人々の新たなニーズに応じて常に変化し続ける必要があります。

この組織は主に障害のある人のボランティアで構成されています。それは即ち、障害があることが私たちの活動やパフォーマンスの障壁になりうることを意味します。障害があることの全ては、それ自体が戦いであり挑戦です。障害にはさまざまな形があり、なかには非常に複雑で特別な注意が必要なものもあります。そのため、様々な障害を持つ人々が何を必要としているか、周囲の人々に対して正確に知らせる必要があります。私たちは、障害を持つメンバーに対し、コミュニティに積極的に関与するよう促し、支援をしています。私たちは、障害を持つ人々が、家に隠れるのではなく、コミュニティの一員として、参加することを望んでいるのです。

障害のある方は諦めがちですが、障害があるからといってすべてが止まるわけではないことをわかってほしいと思っています。どれだけ前を見て、一步前進できるかが重要なのです。

最後に、私たちのスローガン、“Nothing About Us Without Us(私たちのことを、私たち抜きに決めないで)”で締めくくりたいと思います。

Contact Information

 (680)-778-5509

 tessnobuo@gmail.com

 www.facebook.com/OMEKESANG.Palau

